

NY マーケットレポート (2017年6月13日)

NY 市場では、序盤に発表された米生産者物価指数がまずまずの結果となったことや、欧米の株価が上昇したことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。その後は、FOMC の結果発表を控えて様子見ムードが強まったことや、米司法長官の議会証言への警戒感を背景に、ドルは上値の重い動きが続いた。また、米国債利回りが低下したことで、日米の金利差を意識した円買いも見られ、クロス円も軟調な動きとなった。また、カナダ中銀総裁が、「利下げは経済をショックから守るという役割を果たし終えた」との認識を示したことを受けて、カナダ・ドルは主要通貨に対して上昇した。特に、米ドルに対しては4営業日続伸となり、2/28 以来の高値を付け、円に対しては5/25 以来の高値を付ける動きとなった。

2017年6月13日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	110.24	110.27	109.83
EUR/JPY	123.65	123.68	123.02
GBP/JPY	139.84	139.92	139.04
AUD/JPY	83.19	83.23	82.83
EUR/USD	1.1217	1.1218	1.1186

LONDON	高値	安値
USD/JPY	110.25	110.02
EUR/JPY	123.74	123.32
GBP/JPY	140.21	139.78
AUD/JPY	83.21	82.95
EUR/USD	1.1225	1.1200

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	110.05	110.22	109.92
EUR/JPY	123.34	123.54	123.18
GBP/JPY	140.36	140.38	139.90
AUD/JPY	82.95	83.05	82.86
NZD/JPY	79.47	79.55	79.40
EUR/USD	1.1207	1.1220	1.1192
AUD/USD	0.7538	0.7542	0.7525

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21328.47	+92.80
S&P500	2440.35	+10.96
NASDAQ	6220.37	+44.91
日経225 (CME)	19915	+105
トロント総合	15379.75	-4.05
ボルサ指数	49026.83	-101.93
ボベスパ指数	61828.99	+128.76

6/14 経済指標スケジュール

09:30	【オーストラリア】6月ウエストバック消費者信頼感指数
11:00	【中国】5月小売売上高
11:00	【中国】5月鉱工業生産
11:00	【中国】5月固定資産投資
13:30	【日本】4月鉱工業生産
13:30	【日本】4月稼働率指数
15:00	【ドイツ】5月消費者物価指数
17:30	【英国】5月失業率
17:30	【英国】5月失業者数推移
17:30	【英国】4月ILO失業率
18:00	【欧州】1Q雇用者数
18:00	【欧州】4月鉱工業生産
19:00	【南アフリカ】2Q BER企業信頼感
20:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
20:00	【南アフリカ】4月小売売上高
21:00	【ポーランド】5月マネーサプライM3
21:30	【米国】5月消費者物価指数
21:30	【米国】5月小売売上高
21:30	【カナダ】5月住宅価格指数
23:00	【米国】4月企業在庫
03:00	【米国】FOMC政策金利

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1268.60	-0.30
NY 原油	46.46	+0.38
CMEコーン	381.00	+3.75
CBOT 大豆	932.50	+1.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.363%	1.355%
3年債	1.502%	1.489%
5年債	1.781%	1.778%
7年債	2.019%	2.022%
10年債	2.209%	2.213%
30年債	2.866%	2.869%

ドイツ10年債	0.266%	0.249%
英国10年債	1.033%	0.967%

6/14 主要会議・講演・その他予定

- ・ MPC(英中銀金融政策委員会)～15日
- ・ イエレンFRB議長 定例会見

NY 市場レポート

21 : 00

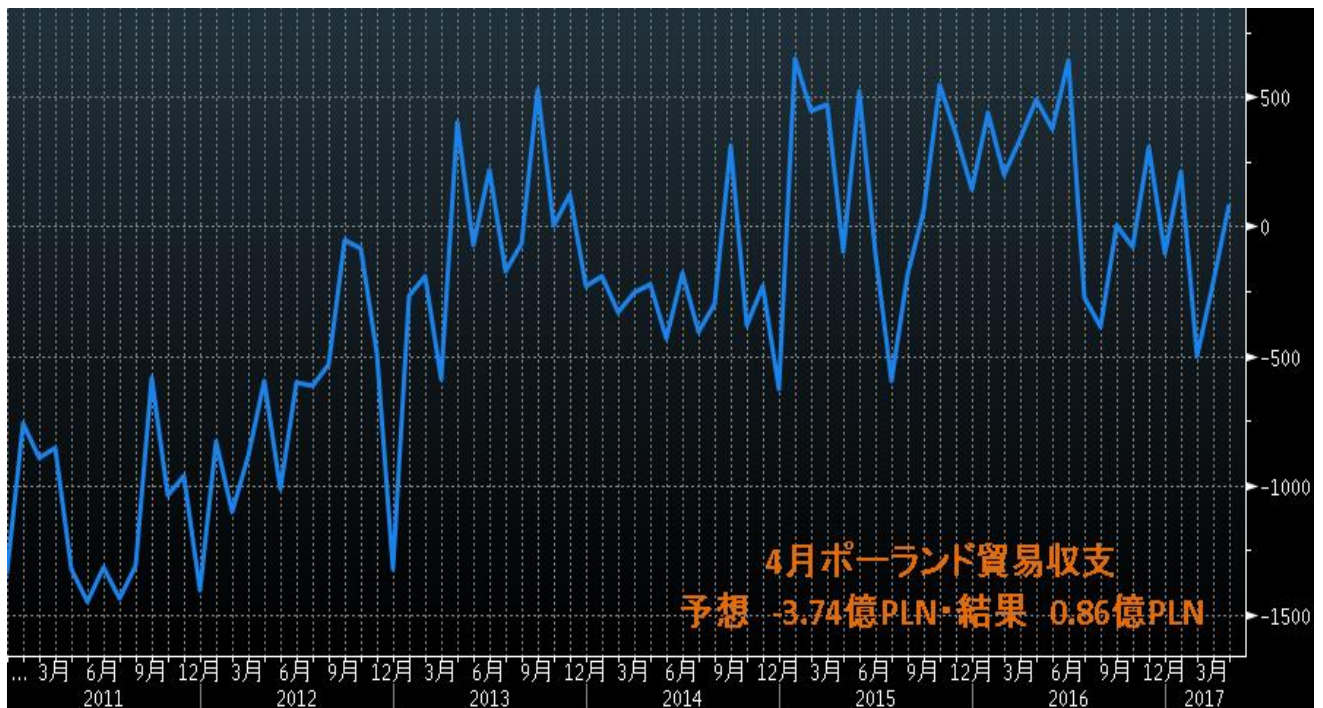
◀ 経済指標の結果 ▶

4月ポーランド経常収支 -2.75 億 PLN (予想 -2.76 億 PLN・前回 -7.38 億 PLN)

4月ポーランド貿易収支 0.86 億 PLN (予想 -3.74 億 PLN・前回 -2.18 億 PLN)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

5月米生産者物価指数(前月比) 0.0% (予想 0.0%・前回 0.5%)

5月米生産者物価指数[コア](前月比) 0.3% (予想 0.2%・前回 0.4%)

5月米生産者物価指数(前年比) 2.4% (予想 2.3%・前回 2.5%)

5月米生産者物価指数[コア](前年比) 2.1% (予想 1.9%・前回 1.9%)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

指標結果データ

《生産者物価指数》

	5月	4月	3月	2月	1月	12月
最終需要	0.0	-0.5	-0.1	-0.3	-0.5	0.2
消費財	-0.5	0.5	-0.1	-0.3	-1.0	0.6
食料品	-0.2	-0.9	0.9	-0.3	-0.5	0.8
エネルギー全体	-3.0	-0.8	-2.9	-0.6	-4.3	1.9
除く食品・エネルギー	0.1	-0.3	0.4	-0.1	-0.4	0.3
サービス	0.3	-0.4	-0.1	-0.4	-0.2	0.0

《 経済指標のポイント 》

5月の米生産者物価指数はモノとサービスを合わせた総合指数は、市場予想と一致し前月比横ばいとなった。前年比では+2.4%となった。原油価格の下落を背景に、エネルギー価格が大きく低下したのが影響した。

①全体から変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースでは、前月比+0.3%、前年比では+2.1%だった。また、食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースは、前月比-0.1%、前年比では+2.1%だった。

②モノは、前月比で-0.5%、前年比では+2.9%。ガソリンなどのエネルギー価格は、前月比-3.0%、食品は-0.2%。サービスは、前月比+0.3%、うち貿易は+1.1%、輸送・倉庫は-0.5%。

21:43

《 要人発言 》

カナダ中銀総裁

・「異例の低金利が続いている」



《ポイント》

OPEC（石油輸出国機構）が発表した5月の加盟国の総産油量は、前月比33万6000バレル（1.1%）増の日量3213万9000バレルとなり、減産合意で導入した生産上限の3250万バレルを5ヵ月連続で順守した。治安情勢などに配慮して減産免除となったりビアとナイジェリアがそれぞれ約17万バレル増産したことが影響した。

OPEC最大の産油国サウジアラビアやイラン、イラク、カタールなどが増加、アラブ首長国連邦、アンゴラ、ベネズエラ、ガボンも減少。国別上限として設定された「生産水準」の履行は、アンゴラ、イラン、クウェート、カタール、サウジ、ベネズエラが達成。アルジェリア、エクアドル、ガボン、イラク、UAEは超過した。

《欧州のポイント》

①スペイン中銀は、2017年の経済成長率予想を3.1%とし、4月時点の予想の2.8%から上方修正した。2018年は、2.2%から2.5%に引き上げた。また、2019年は2.2%で据え置いた。2017年の公的債務はGDP比3.2%と予想。2018年には3%を下回る見通し。

②ECB（欧州中央銀行）は、5億ユーロ相当の米ドル準備を売却し、人民元を購入したことを明らかにした。元の利用拡大やユーロ圏の主要貿易相手国である中国の重要性を浮き彫りにしている。現在の外貨準備の構成は米ドル、円、人民元、金、特別引き出し権（SDR）。保有比率は依然として米ドルが最大で、全体の外貨準備規模に変更はないとしている。

③ドイツ経済省は、月報で民間消費および公共支出の著しい増加や鉱工業生産の拡大に支えられ、第2四半期も上向きな基調が続いたと発表した。グローバルな環境がやや好転する中、ドイツの輸出は引き続き上向いているとした。第1四半期のドイツのGDPは好調な輸出や建設ブーム、家計・公的支出の拡大を背景に、前期比で+0.6%となった。

《欧州株式市場》

欧州株式市場はまちまちの結果となった。英FT100指数は、英ポンドの持ち直しを受けて輸出関連企業が収益悪化懸念から売られた。一方、独DAX指数は、前日の下落で値頃感から買いが優勢となった。



出所：Bloomberg

2:00

≪米財務省 30年債入札≫

最高落札利回り・・・2.870% (前回 3.050%)
 最低落札利回り・・・2.720% (前回 2.920%)
 最高利回り落札比率・・・63.87% (前回 83.10%)
 応札倍率・・・2.32倍 (前回 2.19倍)

4:00

≪ 要人発言 ≫

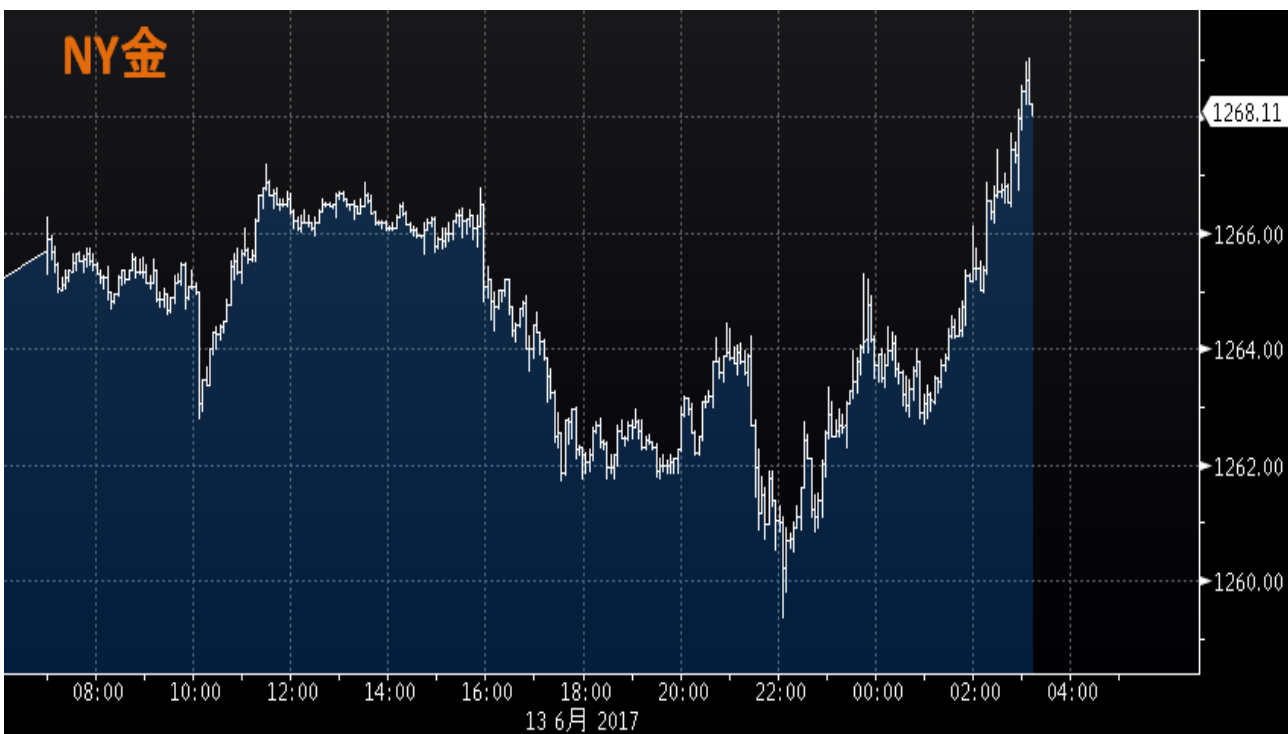
セッションズ米司法長官

- ・「メイフラワーホテルでロシア高官らと会っていない」
- ・「駐米ロシア大使と会談した記憶はない」
- ・「私がロシアと共謀したとの見方にくる然とする」

≪ NY金市場 ≫

NY金は、中心限月が前日比0.30ドル安の1オンス=1268.60ドルで取引を終了した。

NY金は、米FOMC結果発表を控えて追加利上げへの警戒感が高まったことが圧迫材料となった。ただ、FOMC声明の内容を見極めたいとの様子見ムードも強く、限定的な動きとなった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.38 ドル高の 1 バレル=46.46 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米石油統計で原油在庫の減少が見込まれることを受けて、買いが優勢となった。ただ、OPEC が月報で加盟国の 5 月の生産高が前月から増加したと報告したことが嫌気され、売られる場面もあった。

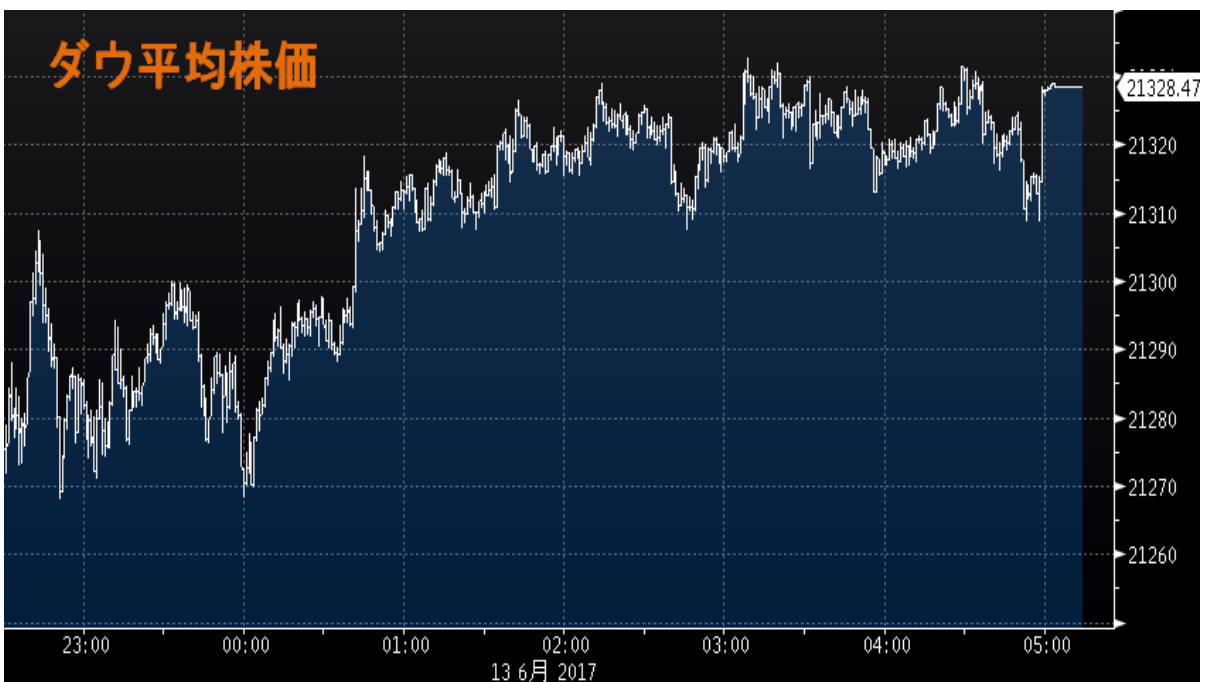


出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、前日まで急落していた IT 株が総じて持ち直したことが全体を押し上げ、主要株価は堅調な動きとなった。

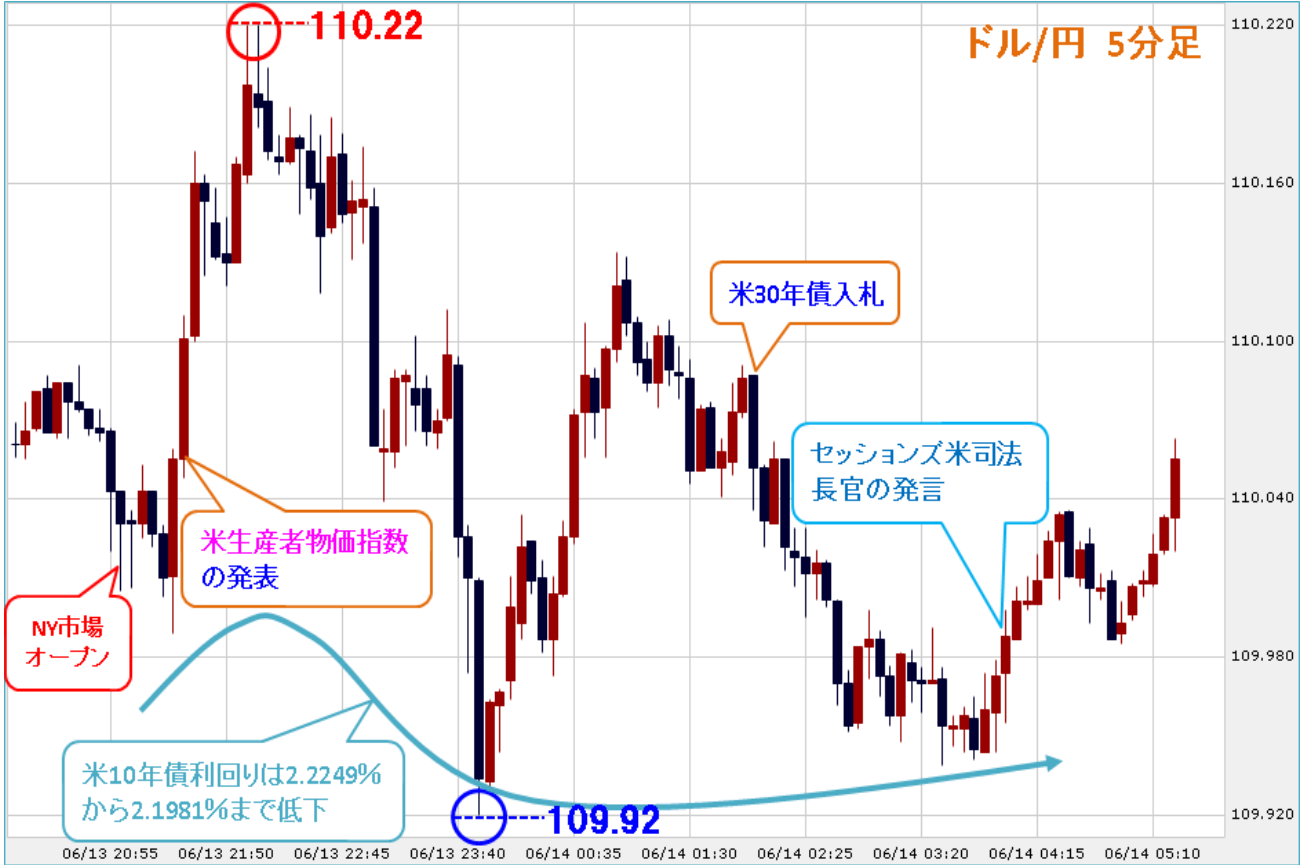
ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時は取引時間中の過去最高値を 2 営業日ぶりに更新した。また、S&P500 は終値ベースの最高値を更新した。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米 FOMC の結果発表を控えて様子見ムードも強くやや限定的な動きが続いた。ただ、序盤に米国債利回りが上昇したものの、その後低下となった流れが影響する場面もあった。また、米司法長官の議会証言への警戒感もドルの上値も重くした。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。